※国交省所管事業　　資料４（別添様式）

番　号	4	令和８年度公共事業事後評価調書	担当課名	道路整備課

事業名	道路整備事業	事業主体	静　岡　県
ふりがな	いっぱんけんどう　ひとすぎしばんたせん	市町名	御殿場市
箇所名	一般県道　仁杉柴怒田線		

事業概要

事業の目的・必要性	本路線は、新東名高速道路の新御殿場インターチェンジと御殿場市街地を結ぶとともに、広域幹線道路である（国）138号バイパスにも接続することから、新東名高速道路の利便性向上や広域道路網の一翼を担う道路として整備を進めた。
事業内容	施工延長　：　1,700　m 道路工　：　1,700　m ：

事後評価の視点

（１）施設の利用状況や被害軽減効果　等

	事業費	事業期間	施設の利用状況や被害軽減効果 等	その他	
前回 (R1)	4,050　百万円	平成　22　年 ～　令和　2　年	供用により広域交通ネットワークの強化が図られる。	B/C EIRR	3.64 －
事後	4,050　百万円	平成　22　年 ～　令和　2　年	供用により広域交通ネットワークの強化が図られた。		
差	0　百万円 0%　増	変更なし	計画通り事業効果が発現している		

■事業費

計画どおり事業完了

■事業期間

計画どおり事業完了

（２）事業の効果の発現状況

新東名高速道路新御殿場ＩＣへのアクセス道路として、本道路、国道138号バイパス（国施工）、国道469号御殿場バイパス（県施工）が整備され、広域的な幹線道路ネットワークが形成された。

（３）事業実施による環境の変化

本道路の整備により、交通量が分散され、周辺道路の歩行者等の安全性が高まります。

（４）事業を巡る社会経済情勢等の変化

新東名高速道路等との一体的な整備により、主要な観光地と新東名高速道路間の円滑な移動が確保され、御殿場市の観光交流客数が増加している。

対　応　方　針　（案）

（１）評価結果　　**事業効果は十分に発現しており、改善措置の必要なし**

本事業の実施により、物流交通等の通過交通を分離し、交通安全性を高めるとともに、新御殿場ＩＣのアクセス道路として整備することで幹線道路網の機能が最大限発揮されている。

（２）今後の課題等

国道469号御殿場バイパス（２工区）の事業を実施している。バイパス工事完成で、さらに交通円滑化等の効果が期待できるため、早期完成に向けて努めていく。

（３）同種事業への反映等

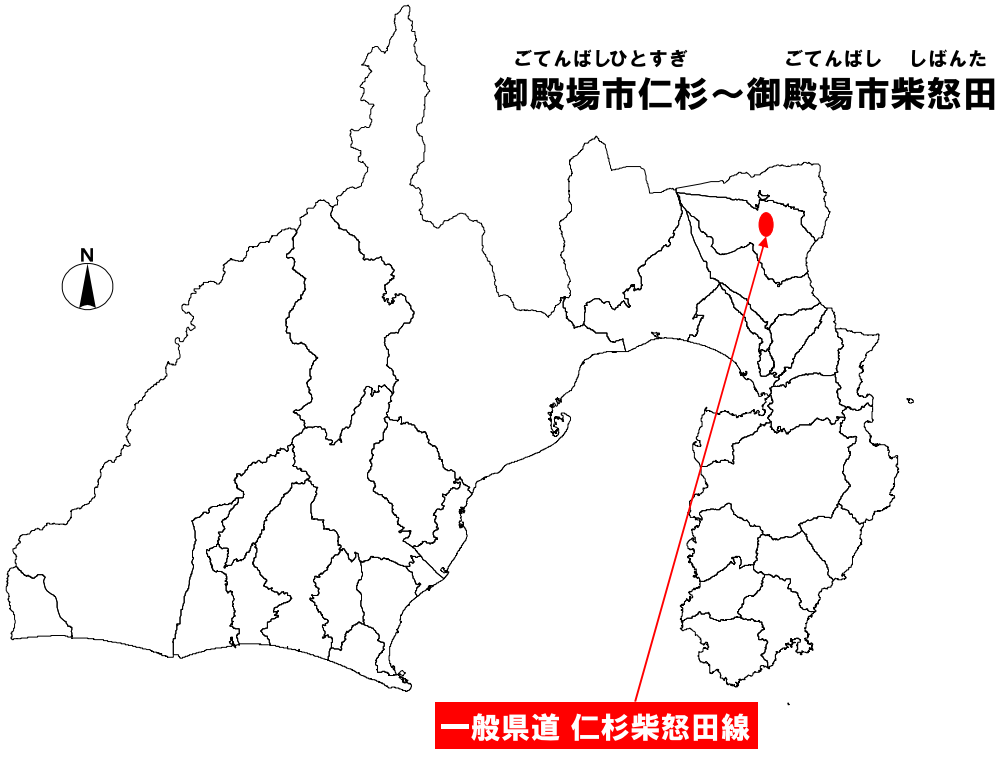
周辺の人口や施設利用等まちづくりにも影響があった。今後もまちづくりに効果的な道路事業を推進していく。道路事業は、多くの関係者の協力が必要となる。そのため、住民対象の現地見学会の開催等により、関係者の理解、協力を得られるように努めていく。

令和8年度公共事業事後評価（道路事業）

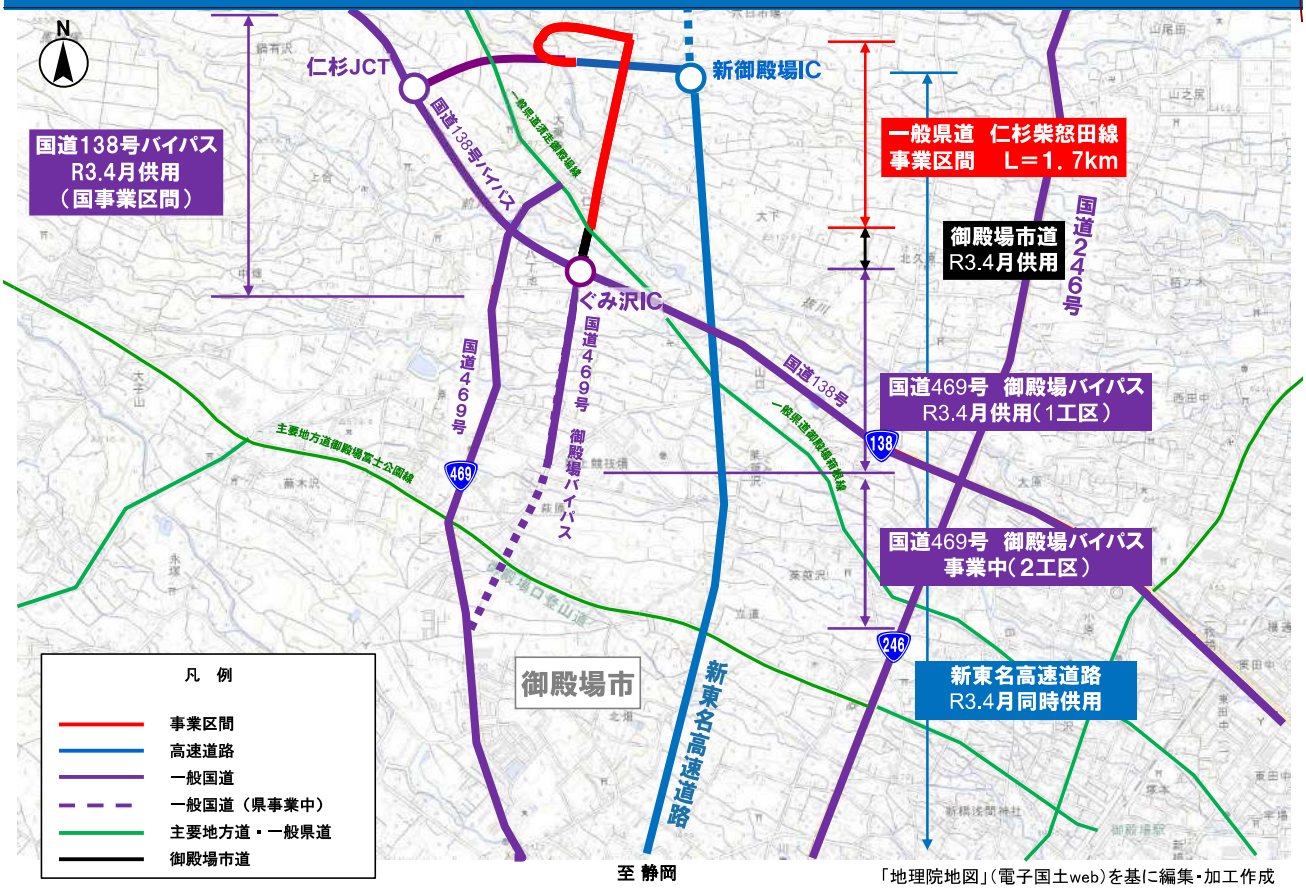
一般県道　仁杉柴怒田線

交通基盤部　道路局　道路整備課

事業箇所位置図



2．事業概要



「地理院地図」（電子国土web）を基に編集・加工作成

2．事業概要

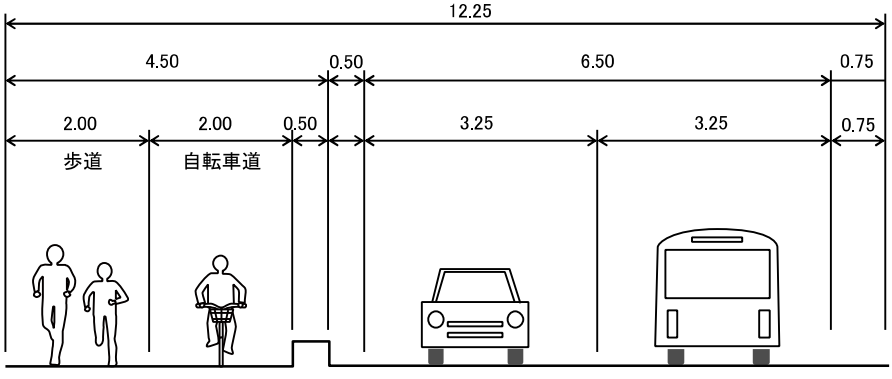
事業概要

- 事業期間　　：平成19年度～令和2年度
- 事業区間延長：1．7km
- 道路幅員　　：車道6．5m（全幅12．25m）
- 車線数　　：2車線
- 全体事業費　：4，050百万円
- 進捗率　　：令和3年4月開通

事業の目的・必要性

本路線は、新東名高速道路の新御殿場インターチェンジと御殿場市街地を結ぶとともに、広域幹線道路である（国）138号バイパスにも接続することから、新東名高速道路の利便性向上や広域道路網の一翼を担う道路として整備を進めた。

標準横断図



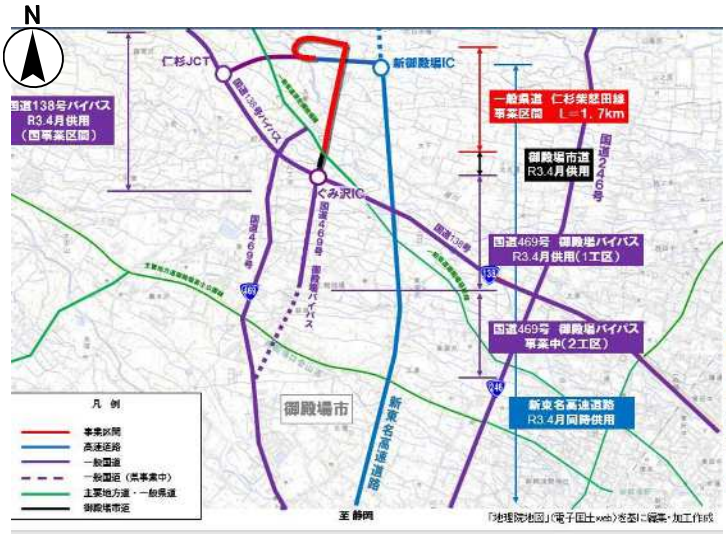
単位：m

3. 事業の効果の発現状況

○広域的な幹線道路ネットワークの形成

・令和3年度に開通した新東名高速道路新御殿場ICは、御殿場市における新たな玄関口となっています。

・新御殿場ICへのアクセス道路として、本道路、国道138号バイパス（国施工）、国道469号御殿場バイパス（県施工）が整備され、広域的な幹線道路ネットワークが形成されています。



■新御殿場インターチェンジと
周辺ネットワーク完成



4. 事業実施による環境の変化

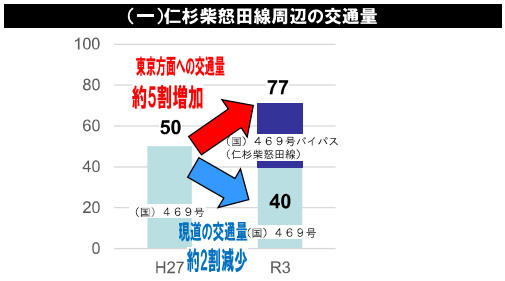
○安全な交通の確保

・（国）469号現道は通学路として利用されているが、十分な歩道幅員が確保されていないため、本道路と（国）469号バイパスの整備により、交通量が分散され、歩行者等の安全が確保されています。

■現道における通学時の状況



■交通量の変化



出典：H27現況交通量、R3現況交通



5. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

○御殿場市の観光交流人口が増加傾向

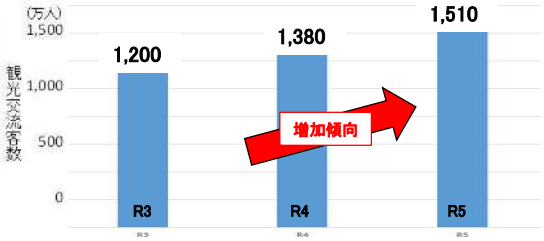
・新東名高速道路等との一体的な整備により、主要な観光地と新東名高速道路間の円滑な移動が確保され、御殿場市の観光交流客数が増加しています。
・新たな観光周遊ルートが形成され、周辺施設では大規模商業施設の拡張整備が行われるなど、地域の経済活動の活性化にもつながっています。

■御殿場市内の観光周遊ルートの形成



写真：「御殿場市観光戦略プラン（平成28年度～平成32年度）」（H28.3 御殿場市）より主要施設を引用

■御殿場市の観光交流客数の推移



出典：「令和5年度静岡県観光交流の動向」静岡県文化・観光部観光交流局観光政策課

■大規模商業施設の拡張



出典：「富士山経済新聞」より引用